

青少年読書感想文全国コンクール

都内から5人が入賞

「第59回青少年読書感想文全国コンクール」（全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催、内閣府・文部科学省後援）の入賞者が1日、発表された。都内からは、最優秀賞の内閣総理大臣賞に白百合学園小6年の金子瑞花さんが輝いたほか、▽文部科学大臣奨励賞（優秀賞）に東京都大付属小5年の吉政尊盛君▽毎日新聞社賞（同）に立教小4年の伊東新之助君▽優良賞の全国学校図書館協議会長賞に豊島区立千登世橋中3年の谷岡奈里美さん——がそれぞれ選ばれた。4人の喜びの声を紹介する。また、足立区立東伊興小4年の山口優葵君がサントリー奨励賞を受賞した。

僕らの時代を
美しい歴史に

文部科学大臣
奨励賞

◇はるかかなところに
いる友へ——東京都
大付属小5年

吉政尊盛君
昨年の毎日新聞社

賞、一昨年の文部科学大臣奨励賞に続く3年連続の優秀賞受賞。小学校高学年の部の課題図書のうち、「はる



吉政尊盛君

かなるアフガニスタン」（アンドリュ・クレメンツ著、田中奈津子訳）は「社会問題を考えたい」と選んだ。

一昨年に日本と韓国と中国の小学生100人が、絵本作りや童話を通して相互理解と友情を深める「韓日子ども童話交流2012」に参加し、隣国の友と夢中で語り合ったという。領土問題や歴史認識を巡り、中国や韓国との緊張関係を伝える報道には、「胸が痛い」と話す。読書感想文の結びには、こう書いた。

【山本浩資】